

令和5年6月 月例記者会見 市長原稿（議案関係）

皆さま方には、平素より市政運営にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。それでは、はじめに6月8日開会の裾野市議会6月定例会に提出いたします議案について、ご説明申し上げます。

提出議案は、報告4件、条例3件、補正予算4件、その他14件の合計25件です。

それではまず、第60号議案 令和5年度裾野市一般会計補正予算(第3回)につきましてご説明申し上げます。

今回の補正は、既定の予算総額に2億9,700万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ205億3,800万円とするものです。

歳入の主なものは、国庫支出金では、道路橋梁費補助金と都市計画費補助金が減額となった一方、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や就学前教育・保育施設整備交付金の増額などにより、1億8,087万7千円の増額、寄附金では、社会福祉総務費寄附金などの増額により6,334万9千円の増額、繰入金では、財政調整基金と都市施設建設基金からの繰入金を1億6,715万9千円増額、市債では、民間幼児施設整備事業の減額などにより5,900万円減額いたします。

歳出については、主な事業を挙げさせていただきます。

まず、総務費では、令和4年度の実証実験において窓口混雑緩和の効果が認められた市民課窓口における予約・発券システムの導入、デジタル技術やデータを活用した交通安全対策事業に係る予算等を予算計上しています。

次に民生費では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、令和5年度基準の低所得者世帯に対し3万円の給付を行う低所得世帯支援給付事業を行います。また、裾野市独自の施策として、高校生までを対象に一人あたり10,000円を給付する子育て世帯物価高騰対策等生活支援事業、保育園等の給食費の一部無償化事業を行います。また、市水泳場跡地へのこども園誘致に向けて周辺の用地測量の追加などを行います。

次に商工費では、観光戦略の策定を行うための予算を計上します。

次に土木費では、社会資本整備総合交付金事業や裾野駅周辺整備事業など、土木費全体における事業の優先度を精査するとともに、基金繰入金などにより財源を確保し、必要な事業を行います。この他に公園費では、駅西公園及びトイレ整備に係る実施設計や、(仮称)御師公園事業における測量業務委託を実施いたします。

次に教育費では、学校再編の展望を示すための裾野市の教育のあり方検討委員会の設置、医療的ケアを必要とする児童への訪問看護の実施、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した幼児教育施設の給食費の一部無償化事業を行います。また、体育施設費では、運動公園野球場維持修繕工事を実施いたします。

その他の議案につきましては、お配りした資料をご覧ください。